



2021年5月14日

各位

会社名 株式会社電業社機械製作所
代表者名 代表取締役社長 村林秀晃
(コード番号 6365 東証第2部)
問合せ先 取締役上席常務執行役員
管理本部長 彦坂典男
(TEL 055-975-8221)

中期経営計画 2022 D-Active の見直しについて

当社は 2020 年度からスタートさせた 3 年計画の「中期経営計画 2022 D-Active」に鋭意取り組んでおり、「Passion for the Next Innovation ～次なる革新への熱い思い～」のスローガンのもと、電業社ブランドの浸透に向け、常に新しい技術を追求し続けるとともに、お客様をはじめ全てのステークホルダーから信頼され、選ばれる企業を目指しております。1 年目の 2020 年度は、好調な受注などにより当初の目標を上回る成果を上げることができたことから、2 年目となる今年度から、一段高みを目指す『+1UP (プラスワンナップ)』を掲げ、向こう 2 ヶ年を通して達成を目指す新たな数値目標を設定しました。

見直した中期経営計画のビジョン、取り組む基本戦略、数値目標は以下の通りです。

< 中期経営計画のビジョン >

「DMW ブランドを浸透させ、熱い思いで自らが牽引者となり、選ばれる企業へ変身する」

- ① DMW ブランドの浸透でプレゼンスを確立する
- ② ポンプ・送風機市場で、グローバルニッチトップ企業を目指す
- ③ お客様のニーズに即した製品とサービスで社会に貢献する

< 中期経営計画の基本戦略 >

- ① 海水淡水化ビジネスの確立
- ② 独創的な製品開発とビジネスモデルの確立
- ③ ストックビジネスの増強とメンテナンス体制の確立
- ④ 人的資源の活性化
- ⑤ SDGs を推進し持続可能な社会の実現に貢献
- ⑥ 「新しい生活様式」に則した働き方の新しいスタイルの推進
- ⑦ 組織統治の強化と公正な事業慣行の実践により企業価値の最大化

< 数値目標 >

	2022 年度 (連結)	(見直し前)
受注高	250 億円	(230 億円)
営業利益	25 億円	(20 億円)
売上高営業利益率	11.0%	(10.0%)
ROE	9.0%	(7.0%)

以上